

両院協議会の協議概要

平成二十年度一般会計補正予算(第2号)外一件両院協議会

平成二十年度政府関係機関補正予算(機第2号)両院協議会

(1) 協議概観

平成21年1月5日国会に提出された平成二十年度第二次補正予算3案は、1月13日衆議院で可決されたものの、1月26日参議院で、一般会計補正予算(第2号)及び特別会計補正予算(特第2号)は修正議決され、政府関係機関予算(機第2号)は否決された。

参議院回付案に衆議院が同意せず、平成二十年度第二次補正予算3案は、衆参両議院の議決が異なったため、衆議院から、国会法第85条により両院協議会を開くことを求められた。

参議院では、同日の本会議において、平成二十年度一般会計補正予算(第2号)及び平成二十年度特別会計補正予算(特第2号)の院議を構成した会派である民主、社民の両会派から協議委員を選任し、また、平成二十年度政府関係機関補正予算(機第2号)の院議を構成した会派である民主、共産、社民の各会派から協議委員を選任した。

それぞれの協議委員は直ちに両院協議会参議院協議委員議長及び副議長互選会を開き、両互選会とも、議長に北澤俊美君を、副議長に石井一君を互選した。

26日に開かれた平成二十年度一般会計補正予算(第2号)外一件両院協議会においては、まず、くじによる抽せんの結果、参議院側の北澤俊美協議委員議長が初会の協議会議長となった。その後、両院における議決の趣

旨説明が行われ、その後各協議委員から種々意見が述べられたが、論点が多岐にわたったため、翌27日も引き続き協議を行った。最後に、参議院側を代表して石井一協議委員から、また、衆議院側を代表して田野瀬良太郎協議委員から、それぞれ締めくくりの発言が行われたものの、成案を得るに至らず、その旨各議院に報告することとなった。

また、27日には、平成二十年度政府関係機関補正予算(機第2号)両院協議会が、平成二十年度一般会計補正予算(第2号)外一件両院協議会の散会後に開会され、まず、くじによる抽せんの結果、衆議院側の衛藤征士郎協議委員議長が協議会議長となった。その後、両院における議決の趣旨説明が行われ、その後各協議委員から種々意見が述べられ、最後に、参議院側を代表して石井一協議委員から、また、衆議院側を代表して田野瀬良太郎協議委員から、それぞれ締めくくりの発言が行われたものの、成案を得るに至らず、その旨各議院に報告することとなった。

これを受け、衆議院では27日、参議院では28日の本会議において、両院協議会の経過及び結果について各議院の協議委員議長からそれぞれ報告が行われた。その結果、平成二十年度第二次補正予算3案は、憲法第60条第2項の規定により、衆議院の議決が国会の議決となった。

(2) 協議経過

平成二十年度一般会計補正予算(第2号)外一件両院協議会

○平成21年1月26日(月)(第1回)

- ・平成二十年度一般会計補正予算(第2号)及び平成二十年度特別会計補正予算(特第2号)について協議を行った。

○平成21年1月27日(火)(第2回)

- ・成案を得なかった。

平成二十年度政府関係機関補正予算(機第2号)両院協議会

○平成21年1月27日(火)(第1回)

- ・成案を得なかった。

(3) 平成二十年度一般会計補正予算(第2号)外一件両院協議会及び平成二十年度政府関係機関補正予算(機第2号)両院協議会参議院協議委員議長報告

平成二十年度一般会計補正予算(第2号)外一件両院協議会の経過及び結果について御報告を申し上げます。(発言する者あり)

静かにお聞きをいただきたい。それは、それはですね、それは、この両院協議会の運営について申し上げます。この両院協議会の一番主要な部分の、(発言する者あり)主要な部分の懇談の部分が議事録はなし、国民に対する公表もなし、そのことについて十分なる協議をいたしました。諸君は、(発言する者あり)諸君は、この私の報告を聞かなければ、あの議会、両院協議会の議事の内容を知るすべがありません。

本院協議委員は、去る26日の本会議におきまして、議長より指名されました後、直ちに協議委員議長及び副議長の互選を行い、その結果、協議委員議長に私、北澤俊美が、副議長に石井一君がそれぞれ選任されました。

なお、衆議院におきましては、衛藤征士郎君が協議委員議長に、鈴木恒夫君が副議長に選任されました。

両院協議会の初会の議長はくじにより決することとなっておりますので、開会に先立ち抽せんを行いました結果、参議院側協議委員議長の私が議長に当選をいたしました。

協議会におきましては、衆議院側の鈴木恒夫君から、定額給付金の給付に必要な経費が計上されていること、緊急雇用創出事業等の国民生活の不安を解消する措置が講じられていること等の理由で原案どおり可決した旨の説明があり、次に、本院側の福山哲郎君から、定額給付金は、真に支援を必要とする生活困窮者に行き渡らず、景気浮揚効果も極めて限定的であること等の理由により、これを削除する修正議決を行った旨の説明がありました。

次に、協議に移りましたところ、各協議委員から、定額給付金の是非等について意見が述べられました。その後、懇談に入り、成案を得るべく熱心な協議が行われましたが、協議会への総理を含む閣僚の出席要求など、論点が多岐にわたったため、翌27日も引き続き協議が行われました。

27日は衆議院側協議委員議長の衛藤征士郎君が協議会議長になりました。

協議会においては、成案を得るべく協議が行われたほか、両院協議会の在り方についても真摯な議論が交わされ、協議会に関する国会法の規定についても今後見直すべきとの議論がありました。

また、協議会議長より、両院協議会の在り方については、後日、検討することとしたい旨の発言がありました。

さらに、両院協議会の在り方について、衆参両院議長に報告の際、両議長より、その在り方について検討することに前向きな御発言がありました。

なお、これまで議事録が作成されていなかった懇談部分についても、新たに、(発言する者あり)新たに、新たに議事録を作成することとなり、その取扱いについては、両院協議会協議委員議長、副議長打合会で、後日、協議することとなりました。

平成二十年度一般会計補正予算(第2号)外一件両院協議会は、熱心な協議が行われましたが、意見の一致を見るに至らず、成案が得られませんでした。

続いて、平成二十年度政府関係機関補正予算(機第2号)両院協議会の経過及び結果について御報告を申し上げます。

本院協議委員は、去る26日の本会議におきまして、議長より指名されました後、直ちに協議委員議長及び副議長の互選を行い、その結果、協議委員議長に私が、副議長に石井一君がそれぞれ選任されました。

なお、衆議院におきましては、衛藤征士郎君が協議委員議長に、鈴木恒夫君が副議長に選任されました。

昨27日の両院協議会の開会に先立ち、抽せんを行いました結果、両院協議会の議長には、衆議院側協議委員議長の衛藤征士郎君が当選されました。

協議会におきましては、衆議院側の鈴木恒夫君から、特に厳しい経済情勢下に置かれている中小企業への対策として、一日も早い成立が望まれている等の理由で、原案どおり可決した旨の説明がありました。次に、本院側の福山哲郎君から、資金繰りに苦しむ中小・小規模企業を支援するセーフティーネット貸付けや信用保険等事業の拡充が不十分であること等の理由により否決した旨の説明がありました。

次に、協議に移りましたところ、各協議委員から種々の意見が述べられました。

その後、懇談に入り、熱心な協議が行われましたが、平成二十年度政府関係機関補正予算(機第2号)両院協議会は、意見の一致を見るに至らず、成案が得られませんでした。

以上、御報告を申し上げます。

(4) 協議表

案 件	請求議院	請求の理由	請求日	本 院 協議委員 選挙日	両 院 協議会 開会日	成案の議決		備 考
						参議院	衆議院	
平成二十年度 一般会計補正 予算(第2号) 外一件	衆議院	両議院議決 不一致	21. 1. 26	21. 1. 26	21. 1. 26 1. 27	協議会におい て成案を得な かった		憲法第60条第2項に より衆議院の議決が 国会の議決となった
平成二十年度 政府関係機関 補正予算(機 第2号)	衆議院	両議院議決 不一致	21. 1. 26	21. 1. 26	21. 1. 27	協議会におい て成案を得な かった		憲法第60条第2項に より衆議院の議決が 国会の議決となった

(5) 協議委員

平成二十年度一般会計補正予算(第2号)外一件両院協議会

議 長	北澤 俊美 (民主)	自見 庄三郎 (民主)	築瀬 進 (民主)
副議長	石井 一 (民主)	西岡 武夫 (民主)	近藤 正道 (社民)
	池口 修次 (民主)	福山 哲郎 (民主)	
	小川 勝也 (民主)	峰崎 直樹 (民主)	

平成二十年度政府関係機関補正予算(機第2号)両院協議会

議 長	北澤 俊美 (民主)	西岡 武夫 (民主)	大門 実紀史 (共産)
副議長	石井 一 (民主)	福山 哲郎 (民主)	近藤 正道 (社民)
	小川 勝也 (民主)	峰崎 直樹 (民主)	
	自見 庄三郎 (民主)	築瀬 進 (民主)	